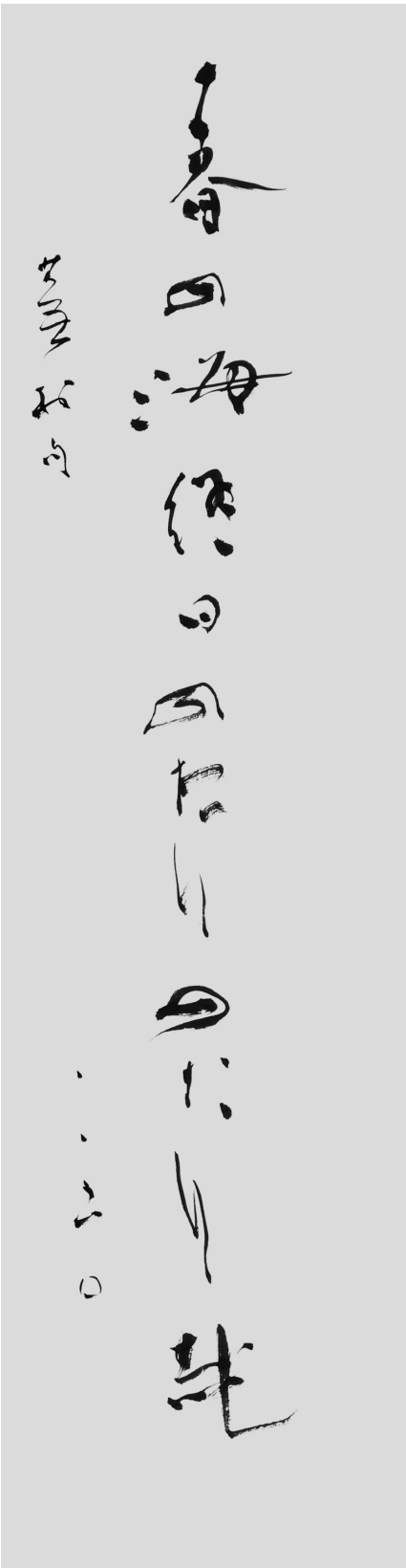


1月25日正午必着

明石春浦先生書



春の海終日のたり^{ひねもす}のたりかな（与謝蕪村）

明石幸子書



千門^{せんもん}春^{はる}静^{しずか}落^{おち}紅^{こう}香^{かほしく}
 宛^{えん}轉^{てん}鶯^{あう}聲^{せい}隱^{いり}緑^{りく}楊^{やう}（朱受新）

宛轉はさえずる声の形容。どこの家々にも春は静かで
 落花が香しく、緑楊にかくれて鶯がさえずっている。



条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

余凍雪纒乾
煙碧柳回色

初晴日驟暄
燒青草返魂

人心新歲月
東風厚薄無

春意旧乾坤
隨例到衡門

(南宋・真山氏)

蘭若生春陽(一枚 乘)

蘭若春陽に生ず

蘭草やかきつばたは春の日差しに生える。

三百六十日 日日醉如泥
雖為李白婦 何異太常妻 (李白)

三百六十日 日日醉うて泥のごし
李白の婦為りと雖も 何ぞ太常の妻に異ならん

新安江行 (章八元)

新安の江行 章八元

江源南出永 野飯暫維楸

江源南出して永し 野飯暫く楸を維ぐ

古戍懸魚網 空林露鳥巢

古戍 魚網を懸け 空林 鳥巢を露わす

雪晴山脊現 沙淺浪痕交

雪晴れて 山脊現われ 砂浅くして 浪痕交わる

自笑無媒者 逢人作解嘲

自ら笑う 媒者無く 人に逢いて 解嘲を作すを

何となく今年はよい事あることし 元日の朝晴れて風無し

(石川 啄木)

半紙部規定課題A

1月25日正午必着

磬 惟
音 聞
鐘

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

1月25日正午必着

行書

惟聞鐘磬音

隸書

惟聞鐘磬音

明石春浦先生書

惟聞鐘磬音

惟聞鐘磬音

草書

行草書

すがすがしい晨、年古りた寺に入って行くと、おりしもさしのぼる朝日の光が、空高く茂る林の梢を照らす。曲りくねった径はしずかにおくまった処に通じ、僧房のあたりに、花咲く木々が深く茂っている。山中の風光は、鳥の本来の性を満足させ、潭に映ずる影は、人の心の雑念を拭い去ってくれ、すべての物音が、いまやここにすべてひっそりとしずまり、ただ寺でうちならす鐘と磬の音だけがきこえてくる。

題「破山寺後院」 常建

清晨入古寺

初日照高林

曲徑通幽處

禪房花木深

山光悅鳥性

潭影空人心

萬籟此俱寂

惟聞鐘磬音

破山寺の後院に題す 常建

清晨 古寺に入り

初日 高林を照らす

曲徑 幽処に通じ

禪房 花木深し

山光 鳥性を悦ばしめ

潭影 人心を空しうす

万籟 此に俱に寂たり

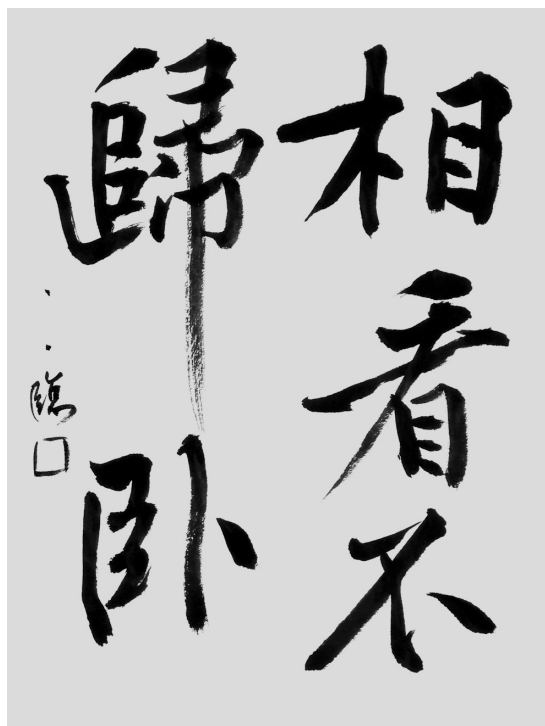
惟だ鐘磬の音を聞くのみ

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より

力貧買酒醉
 此筵夜雨鳴廊
 到曉懸相看
 不歸卧僧氈
 泉枯石燥復潺湲
 山川光暉為我

力貧買酒醉此筵 夜雨鳴廊到曉懸 相看 不歸卧僧氈 泉枯石燥復潺湲 山川光輝為我 (妍)
 貧を力めて酒を買い 此の筵に酔う 夜雨 廊に鳴り 暁に到るまで懸る 相い見て帰らず 僧氈
 に臥す 泉は枯れ 石は燥くも復た 潺湲たり 山川の光輝 我が為に (妍なり)

1月25日正午必着



相あいみてみ帰かえらず (僧そう氈ぜんに) 臥ふす

宋 黄庭堅・松風閣詩卷

黄庭堅は北宋後期の文人で字は魯直、号は山谷という。書は宋の四大家(蔡襄・蘇軾・黄庭堅・米芾)の一人にあげられ、北宋の強烈な新書風を代表する大家である。

庭堅は新旧両法党の争いの中で左遷させられ、幾度となく各地に流されるという不遇の主といわれている。

宋代書風の展開は、前時代の書法の衰退のあとを受け、伝統的な晋唐の書法の再建にはじまり、のちにやがて革新の気を帯びて、精神の発揚の象徴としての書への大転換がみられる。特に蘇軾・黄庭堅・米芾の三人はいずれも顔真卿の影響を強く受け、それぞれの風格をもって後世に受け継がれることになった。

この詩巻は、左遷による鬱屈した庭堅の気持ちが強くにじみ出ているといわれている。師と仰ぐ蘇軾の死と流謫中の不自由な境涯を嘆き悲しむといった心境を巧みに織込んでいる。その書は、いわゆる顔法の影響がみられ、更に適勁整密・姿態のおもしろさが魅力であるが、その上に不遇な境遇に屈しないで自らの天地を求めようとする強い精神がにじみ出ているように感じられる。(春廣)

※適勁：書・画・文章等の力強いこと。



夜雨 廊に鳴り 暁に到るまで懸る 相あいみてみ帰かえらず 僧そう氈ぜんにふす



れき ほう
歴 訪

中学一年

雨宮春聲先生書



たから ぶね
宝 船

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



き

てき

小学五年

榎戸春龍先生書



しん

ねん

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月25日正午必着



しょう がつ
正 月

小学三年

藤田幸春先生書



がい くに
外 国

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

た い 小学一年・幼年



森戸春濤書

お多 い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

遠くまで続いていきます	美しい白銀のみねが
-------------	-----------

小学五年

山の向こうに見えます	炭焼き小屋のけむりが
------------	------------

小学六年

りの汽車が走って行く	白い雪原を黒いけむ
------------	-----------

中学

新春のおよろこびを	申しあげます
-----------	--------

一般(級位)

見せばやな雄島のあまの袖だにもぬれにぞぬれし色はかはらず <small>(小倉百人一首・殷富門院大輔)</small>	おせはやな雄島のあまの袖だに	ぬれにぞぬれし色はかはらず
---	----------------	---------------

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

か	そ
	ら
の	に
ぼ	
り	は
ま	つ
す	ひ

幼年

か	は
	ね
き	つ
こ	き
え	の
ま	
す	音

小学一年

ら	は
さ	つ
れ	日
た	の
	光
雪	に
山	て

小学二年

北	雪
国	に
の	と
	ざ
お	さ
正	れ
月	た

小学三年

初	水
日	平
が	線
の	の
ぼ	向
り	こ
ま	う
し	か
た	ら

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

柳かろふ
 三香と書に

たはりの
 三



松永翠舟先生書

婦利
 多可
 三
 希介
 支
 見
 那三

(西行)